

研究実施のお知らせ

研究課題名：大動脈弁狭窄症に対する ATS16AP 使用後の遠隔期成績の検討

研究期間：2019年 月（倫理委員会承認後）～2021年3月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2014年11月から2019年5月までに、大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術を受けた方のうち、人工弁・ATS 16AP を使用された方。

【研究の目的と意義】

大動脈狭窄症に対する外科治療は大動脈弁置換術が一般的に行われています。欧米に比べて体格の小さい日本人では、狭くて小さな大動脈弁輪を認める頻度が多いといわれています。この狭小弁輪を伴った大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術では、弁輪拡大術が行われることがありますが、症例によっては困難な場合もあり、拡大せずに弁置換が可能であればその方がよいこともあります。そこで本研究では、世界最小の人工弁である ATS16AP の使用症例の手術成績および遠隔期成績を評価し、その妥当性を検討することを目的としています。

【研究の方法】

本研究は、東北大学を中心とした東北地方の多施設共同前向き観察研究です。対象となる患者さんについての診療情報を電子カルテから抽出したうえで、各施設から送られた情報を統合し解析検討を行います。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（心臓超音波検査結果、血液検査結果など）等を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報等を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は、多施設共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

研究代表者：

東北大学大学院医学系研究科心臓血管外科学分野 齋木佳克

研究参加施設

青森県立中央病院 心臓血管外科

岩手県立中央病院 心臓血管外科

大崎市民病院 心臓血管外科

仙台厚生病院 心臓血管外科

仙台市医療センターオープン病院 心臓血管外科
東北薬科大学病院 心臓血管外科
国立病院機構水戸医療センター 心臓血管外科
国立病院機構仙台医療センター 心臓血管外科
仙台市立病院 心臓血管外科

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 心臓血管外科
科部長 渡辺 徹雄（当院の研究責任者）
仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号
電話：022-308-7111（代表）